

進路通信



松原市立松原中学校
令和6年11月15日
第21号

公立選抜について

「令和7年度 大阪府公立高等学校等アドミッションポリシー（求める生徒像）^①並びに学力検査問題の種類^②並びに学力検査の成績及び調査書の評定にかける倍率のタイプ^③」（タイトルが長い…）をグーグルクラスルーム「3年」に入れてもらいました。①～③はこれまでの進路学習で聞いた覚えもあると思いますが、いよいよ本格化する公立志望校選択、自己申告書作成、入試対策に必要な情報です。特に公立高校の受検を考えている人はしっかりおさえておきましょう。



★ ★ ★ ①「アドミッションポリシー」とは ★ ★ ★

「①アドミッションポリシー（求める生徒像）」とは、大阪府教育委員会によると…

アドミッションポリシーとは、学校が求める生徒像、期待する生徒の姿を示したものであり、受験生にとって、志望校を決定する大きな判断材料の一つになるとともに、受験生が、出願時に自己申告書を作成する際に参照するものです。

高等学校においては、総合点（学力検査の成績等＋調査書中の評定）等とともに、このアドミッションポリシーに基づいて、受験生の合否を判定することになります。

なお、各学校はスクール・ミッション（各校の存在意義や期待される社会的役割、めざす学校像等）に基づき、グラデュエーション・ポリシー（育成をめざす資質・能力に関する方針）、カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）、アドミッションポリシー（入学時に期待される生徒像を示す基本的な方針）を定めています。スクール・ミッション及び各ポリシーについては、府ウェブページ「スクール・ミッション、スクール・ポリシー」をご確認ください。

（URL：<https://www.pref.osaka.lg.jp/o180040/kotogakko/schoolmission/index.html>）

ポイント



つまり「アドミッションポリシー（求める生徒像）」や「スクール・ミッション（各校のめざす学校像）」とは、公立志望校を選択する時に見て、「こんな学校に行きたい」「この学校で、こんな高校生になりたい」「私に向いている」と考える材料とするものです。また「アドミッションポリシー（求める生徒像）」は、自己申告書を書く時にも大変重要なものです。選抜時にボーダーゾーンに入った場合、自己申告書等の内容がその高校のアドミッションポリシーに極めて合致する者が優先的に合格となるからです。（詳しくは進路冊子「進路決定のために」を再度確認してください。）

★ ★ ★ ②「学力検査問題の種類」とは ★ ★ ★

「②学力検査問題の種類」は、公立入試に向けた対策を立てるためにも知っておくべき内容です。「問題の種類」は英語・国語・数学について、特別選抜では A（基礎的問題）、B（標準的問題）の2種類、一般選抜では A（基礎的問題）、B（標準的問題）、C（発展的問題）の3種類があります。例えば数学は C 問題だけ60分間だったり、英語は C 問題の問題文がすべて英語でリスニングが25分だったり種類によって違いがあるので、志望校の問題に合わせた対策も必要になってきます。公立志望校の問題の種類を必ずチェックした上で、過去問題集に取り組んでください。

★ ★ ★ ③「学力検査の成績及び評定にかけるタイプ」とは ★ ★ ★

「③学力検査の成績及び調査書の評定にかけるタイプ」とは、『学力検査の成績（入試当日の点数^{※A}）』と『調査書の評定（中学校の頑張り^{※B}）』にかける倍率のことです。例えば一般選抜の場合、900点の総合点で合否判定が行われますが、倍率は以下のようになっています。

タイプ	学力検査の成績にかける倍率	調査書の評定にかける倍率	総合点	学力検査の成績：調査書の評定
I	1.4倍(630点)	0.6倍(270点)	900点	7 : 3
II	1.2倍(540点)	0.8倍(360点)		6 : 4
III	1.0倍(450点)	1.0倍(450点)		5 : 5
IV	0.8倍(360点)	1.2倍(540点)		4 : 6
V	0.6倍(270点)	1.4倍(630点)		3 : 7

〔※A 入試の点数 → 90点×5教科 = 450点満点
※B 中学校の頑張り → 1教科50点(3年×6+2年×2+1年×2)×9教科 = 450点満点〕

総合点の900点中、270～630点は、中学校の頑張りです。これからも授業や提出物、定期テスト等を大事にしてください。

自己申告書の下書きをはじめましょう！

令和7年度選抜からオンライン出願となったため、自己申告書はテキスト入力で行うことができます。タブレットで下書き・推敲^{すいこう}をしっかりと、コピー＆ペーストで貼りつけましょう。（紙で書いたものをスキャンして添付したいという人は担任の先生と相談してください）。下書きは3学期がはじまるまでに書き上げることをめざしましょう。



書く内容 ※文字数・行数は目安です

- ①「中学校等の生活（あるいはこれまでの人生）でどんな経験をしたか」25字×15～18行程度
- ②「①の経験から学んだこと」25字×8～10行程度
- ③「②を高等学校でどのように生かしたいと思うか」25字×8～10行程度
- ④「将来の目標（高校卒業後の展望）」25字×3～5行程度

※志望校が決まったら、特に③の内容をアドミッションポリシーに合わせて整えます。

※自己申告書完成の目安は、特別選抜受検者は1月下旬、一般選抜受検者は2月下旬です。